

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉2-17-6
サンコート新千葉102号
E-mail:kidchiba@lily.ocn.ne.jp
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
発行責任者：特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター
2016年7月10日発行 第81号 1部100円 <http://chiba.gekijou.org/>

ぐるみ 総房

二〇一六年度通常総会終了

2016年度も熱い思いでスタート!

共感のネットワークを強化し、

ボランティア等の人材を活かすコーディネーターこそ胆

子ども劇場千葉県センターは、エクセレントNPOの「市民性」「社会変革性」「組織の安定性」の3つの評価基準の自己評価をはじめ3年、社会的課題の解決に向けてより強いエクセレントNPOをめざしてきました。特にこの一年は、事業に関わるボランティアや寄付という形の市民参加で支えられ、「市民性」をレベルアップしました。社会を支えるさまざまな人材を広げることができました。

子どもの格差を生むさまざまな背景の中、いじめ、児童虐待、子どもの貧困、何らかの困難から子どもが「生きづらさ」を感じている声がチャイルドラインにも届いています。ママパパラインで受ける養育者の悩みも深刻です。

地域がどのように変わっていかれば当事者が幸せ感を持ち、前向きに一步を踏み出せるのか、そのためにできることにおもいを巡らせ、身近にいる子どもたちや養育者を社会全体で支えられるよう、理解者や共感者を広げ、文化的な環境づくりを一層すすめます。

そして、子どもを受け止める寛容な社会にしていくために子どもや養育者の様々な課題に向き合い、共感のネットワークのつながりを強くし、ボランティアなど多彩な人材をコーディネートして、もう一段・もう一步前にすすめます。地域の皆さん、一緒に力を尽くしましょう。

理事長 宇野京子

●●● 2016年度事業 ●●●

- ① 学校への芸術家派遣（文化庁委託事業）
- ② 長期入院・福祉施設の子どものあそびワークショップ（子どもゆめ基金助成事業）
- ③ チャイルドライン千葉
- ④ ママパパラインちば
- ⑤ 病気の子どもが笑顔になる贈り物
- ⑥ はじめてのおしばい
- ⑦ 子どもの舞台芸術体験ひろば
- ⑧ 傾聴の文化を拡げる講座
- ⑨ チャリティ公演
- ⑩ IT活用情報伝達スキル獲得講座の開催
- ⑪ 子育て出前講座
- ⑫ NPOサポート



○●総会出席者のアンケートより●○

- ・チャイルドラインやママパパラインでのリアルな声をきくことができ胸が詰まりました。子どもやお母さんの現状が少しでも改善されることを願います。
- ・事業での成果を交流できて、キーワードになる言葉がたくさんあり、一緒にがんばりたいと思いました。
- ・参加者の顔が見え、意見が出しやすい雰囲気でした。
- ・ドロップボックス等、新しい試みは大変ありがたいです。活動へのヒントもあり元気をもらえました。

●●● 2016・2017年度事業で実現する具体的な生活文化環境づくり ●●●

- ① エクセレントNPOの「市民性」「社会変革性」「組織の安定性」の視点で事業を企画・評価し、NPOとしての質的な向上をめざしていきます。
- ② 子どもが子どもらしく生きていくために、活力や創造力の源泉となるのが文化芸術との出会いです。芸術家と共に多様で豊かな現場をつくるために、子どもとアートをつなぐ子ども文化地域コーディネーターを育成しコーディネート力を高めます。
- ③ 傾聴の事業を通じて受け手ボランティア等の専門性を持った人材育成にとりくみます。
- ④ 後援会、賛助、寄付活動、ボランティア等多様な支援の形態で共感者、応援者、協力を広げエクセレントNPOの「市民性」を強めていきます。
- ⑤ 団体正会員や県内団体とのネットワークで連携や協力を積極的にすすめて、提言や行政の施策に反映させるようにしていきます。

● 2016年度通常総会報告

日にち：2016年6月14日(火)
時間：11時30分～13時50分
場所：千葉市民会館特別会議室
出席者：正会員51名中 40名出席
委任・書面表決 11名
オブザーバー22名

- 第1号議案 2015年度事業報告承認の件
 - 第2号議案 2015年度活動計算承認の件
 - 第3号議案 2016年度事業計画承認の件
 - 第4号議案 2016年度活動予算承認の件
 - 第5号議案 2016・2017年度役員承認の件
- すべて全会一致で承認されました。

「アートマネジメント」から「社会包摂の理念をもった公共ホール」



人口10万人の岐阜県可児市にある可児市文化創造センター「通称アーラ（ala）」は「芸術の殿堂ではなく、人々の思いでの詰まった人間の家としてとらえ、もっと市民へ！もっと地域へ！」をコンセプトにしている。講演ではイギリスの事例から日本の公共ホールの使命と未来を考えた。

アーラの理想とする劇場はイギリスのウェスト・ヨークシャー・プレイハウス
文化庁新進芸術家海外研修員として社会包摂事業を学ぶため渡英

イギリスの劇場は、舞台芸術をつくる機関で貸館はやっていない。ウェスト・ヨークシャー・プレイハウスには、芸術監督と経営監督の基に①作品をつくるプロデュース部②包摂機能をもつ芸術開発部③広報・宣伝を担うマーケティング部④資金調達のフアンドレイジング部があり、それぞれ専任スタッフが配置されたプロフェッショナル集団。芸術開発部は対象を子ども・若者・高齢者・障がい者とし、様々なプログラムを提供している。

子どもの場合、学校と連携し年間4,000人以上が劇場ツアー、演劇ワークショップ、舞台鑑賞と、一日をとおし表現力や想像力をかきたてるプログラムを体験する。芸術に魅せられ、大人になって芸術の世界に入ってくることも多い。若者では目的を若者の社会復帰と明確にし、ニートや軽犯罪を犯した若者の居場所づくりとして音楽・美術・演劇プログラムがある。これに参加するとアートワードという大学進学資格を得ることができる。7割の若者が社会復帰している。

劇場は常に地域のために何ができるかを考え、地域にむきあう芸術のあり方を実践している。

alaが描く考え方

「創造鑑賞事業×コミュニティ事業=あたらしいコミュニティ広場」

アーラには、年間438,000人の来館者がある。学校や病院と同じように劇場が地域にとって必要な場にしていきたいと、多くの社会包摂型事業を実施。劇場を中心とした地域コミュニティができ、元気なまちづくりのお手伝いをするプログラムを提供している。

■「創造鑑賞事業」

可児市から全国へ、質の高い演劇作品を発信している。日本演劇界は、新作至上主義のところがあるが、アーラではあえて過去の優れた戯曲をリメイクした作品や、創作した作品を上演している。職員の芸術的感性、プロデュース能力が磨かれている。作品をつくるにあたり俳優が長期に滞在するため、常に30人以上の市民サポーターが食のおもてなしや、公演PRなど様々な形で支えている。

■「コミュニティ事業」

アーラが発信する「まち元気プロジェクト」。子ども、高齢者、外国人、障がい者など地域の皆さんに様々なプログラムを届けている。毎年3月には集大成として発表会を開催。平成27年の実施回数465回、参加者数13,576人。

①子ども・学校との連携で「本物の鑑賞体験」の実施。放課後には「アートによる子どもの居場所事業」本気で演劇を志す子どものために「ユースシアター事業」不登校児童のための自己肯定感を養うワークショップ、退学者の多い高校での演劇等がある。

②育児ママと高齢者・育児ママの居場所づくり「親子体験講座（コミュニケーションワークショップなど）」「高齢者の健康維持と芸術による生きがいづくり、介護予防ダンス」

③障がい者・「鑑賞体験+表現体験」クラシックコンサートの実施、劇場から一番遠いと思われる人にコンサートを提供している。表現体験ではすべての垣根を越えて楽しむ「みんなでディスコ」を実施。

④外国籍の市民・「多文化共生プロジェクト」可児市は16人に一人が外国籍の市民。演劇で、外国籍の方の居場所をつくり、市民からの理解を深める。

日本の劇場は、ほとんどが公演やイベント、集会のための貸し館であり、あとは東京などから公演の招へい、市民参加型公演等を住民に提供している。地域コミュニティの崩壊、核家族化、格差の拡大、貧困層の増加と、人々が孤立化の傾向にある。それら地域の課題を解決するために、学校、アーティストなど様々な個人、団体との連携をし、劇場を中心としたコミュニティを創っていきたい。2012年に成立した「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」を具体化していくことが仕事だと思っている。

文責：綿貫

参加者からは、社会包摂という新しい考え方の公共ホールがあることに驚いたという感想が多く寄せられた。「地域のために何が出来るか」ということをいつも考えているというお話では、公共ホールの使命として素晴らしいに尽きる。市民とともにネットワークを広げ、実践を重ね成果を出していることにびっくりし、うらやましいだけでなく、希望がもて元気が出た。我が町のホールを思い浮かべ、アーラのようなホールのイメージを持ったことがなかった自分に気づいた。

「社会包摂とは」

文化芸術や文化政策を語るうえで「社会包摂」というキーワードは重要な役割をもつ。社会的疎外感をケアし、社会的孤立を回避して、「何かのコミュニティの一員」になることで社会的人間として存在し、成長を約束され、多様な価値を包摂できてこそ、懐の深い豊かさを実現し、健全で成長力のある社会を実現できる。この理念こそ、経済成長よりも国民総幸福度を重視する「成長」と「豊かさ」のある社会形成のための理念だと考える。(ala ホームページ 館長 衛 紀生談より抜粋)

澤村潤さんプロフィール

可児市文化創造センター事業政策課 係長。千葉県生まれ。千葉県立二和高校演劇部出身。1998年から東京グローブ座で制作部に所属。2002年より、地域の劇場に魅力を感じて可児市文化センターの運営に携わる。2011年文化庁新進芸術家海外研修員（アートマネジメント部門）で渡英、ウェスト・ヨークシャー・プレイハウスにて80日間学ぶ。

劇場、音楽堂等の活性化に関する法律 HP
http://www.bunka.go.jp/seisaku/bunka_gyosei/shokan_horei/geijutsu_bunka/gekijo_ongakudo/

受託2年目は69校(昨年39校)の学校で実施します!

県内すべての子どもたちに文化芸術を届けたい!

昨年度に引き続き、今年度も小規模校へプロの芸術家を派遣し、学校での授業に90分間のワークショップを展開していきます。

団体正会員と連携し、ネットワークを強化しながら、コーディネート力を発揮し、最善の授業になるよう、芸術家、学校、そして子どもたちをつないでいきます。子どもの小さな変化を見逃さず、エピソードを丁寧に集め、NPOならではのきめ細かい取り組みと発信を行っていきます。

派遣事業の効果や波及性が総会で報告された

昨年、市原市内6校実施でき、毎回教育委員会の関係者にもみていただきました。たった90分間のワークの中で、子どもたちが驚くほど変わっていく様子を目の当たりにしてとても感動しました。ある学校で事前に用意したお礼の言葉を読み上げようとした女子児童が、原稿をパタリと閉じて、自分の言葉で感想を率直に述べたのです。それを見ていた教育委員会関係者が「これは最高の成果だ!」と感激していました。先生や教育委員会の方々も、子どもたちの満足した顔や表現する姿をみて芸術や芸術家の力を実感し、市原市教育センターでは教師もこういう体験が必要だと、教職員セミナーで「劇団風の子」の大淵弘幸さんの「演劇表現ワーク」を6月に実施します。うれしい波及効果です。(2016年度総会にて 会員 船山慶子さん発言)

<平成28年度「文化芸術による子供の育成事業」実施校>

No.	自治体	学校名	実施日	対象学年	実施内容
1	野田市	川間小学校	10/11	5・6年生	バレエ
2	野田市	二ツ塚小学校	1/19	6年生	狂言
3	野田市	木間ヶ瀬小学校	10/12	5・6年生	アフリカの太鼓
4	流山市	八木南小学校	9/13	6年生	狂言
5	市川市	福栄小学校	11/11	2年生	アフリカの太鼓
6	船橋市	咲が丘小学校	12/2	4年生	落語
7	習志野市	袖ヶ浦西小学校	12/9	5・6年生	アフリカの太鼓
8	習志野市	秋津小学校	11/9	2年生	古楽器
9	習志野市	袖ヶ浦東小学校	12/5	2年生	バレエアート
10	佐倉市	白銀小学校	10/11	3・4年生	歌唱
11	八千代市	南高津小学校	1/20	6年生	狂言
12	成田市	豊住小学校	10/22	全学年	演劇表現
13	成田市	八生小学校	10/13	6年生	歌唱
14	成田市	新山小学校	10/21	3・4年生	アフリカの太鼓
15	成田市	神宮寺小学校	1/13	5年生	狂言
16	富里市	浩養小学校	11/29	全学年	演劇表現
17	四街道市	みそら小学校	1/27	6年生	狂言
18	四街道市	旭小学校	12/14	1・2年生	パントマイム
19	八街市	笹引小学校	1/16	5・6年生	歌唱
20	八街市	二州小学校	10/14	5年生	狂言
21	茂原市	二宮小学校	1/10	6年生	狂言
22	袖ヶ浦市	平岡小学校	10/19	4年生	落語
23	市原市	国府小学校	10/24	4~6年生	落語
24	市原市	市東第一小学校	1/12	全学年	アフリカの太鼓
25	市原市	市東第二小学校	10/27	全学年	アフリカの太鼓
26	市原市	寺谷小学校	10/5	3・4年生	パントマイム
27	市原市	有秋南小学校	9/9	6年生	狂言
28	市原市	加茂小学校	11/16	3・4年生	落語
29	柏市	手賀西小学校	6/20	3年生	古楽器
30	香取市	福田小学校	11/18	全学年	歌舞伎
31	香取市	神南小学校	10/18	1・2年生	演劇表現
32	香取市	小見川東小学校	9/26	5・6年生	落語
33	香取市	小見川北小学校	12/7	6年生	和太鼓
34	香取市	八都小学校	12/14	4・5年生	落語
35	香取市	八都第二小学校	12/1	全学年	ミュージカル
36	銚子市	飯沼小学校	12/2	5・6年生	パントマイム
37	銚子市	本城小学校	11/2	5年生	ニューフィルド
38	銚子市	猿田小学校	10/28	全学年	歌唱
39	旭市	滝郷小学校	1/12	2~4年生	コミュニケーション
40	旭市	飯岡小学校	11/9	6年生	パントマイム
41	旭市	中和小学校	12/5	3・4年生	演劇
42	匝瑳市	吉田小学校	2/13	全学年	歌唱
43	匝瑳市	栄小学校	12/15	6年生	歌舞伎
44	東金市	丘山小学校	12/8	全学年	アフリカの太鼓
45	東金市	源小学校	1/21	全学年	アフリカの太鼓
46	山武市	緑海小学校	9/8	3・4年生	歌唱

No.	自治体	学校名	実施日	対象学年	実施内容
47	山武市	鳴浜小学校	12/7	1・5年生	バレエアート
48	山武市	山武北小学校	10/14	1・2年生	パントマイム
49	九十九里町	九十九里小学校	2/8	5年生	和太鼓
50	横芝光町	大総小学校	12/14	全学年	バレエ
51	横芝光町	南条小学校	10/17	全学年	演劇表現
52	横芝光町	白浜小学校	9/12	5・6年生	演劇
53	館山市	九重小学校	11/15	全学年	アフリカの太鼓
54	鴨川市	西条小学校	11/16	4年生	アフリカの太鼓
55	鴨川市	長狭小学校	11/2	5・6年生	アフリカの太鼓
56	南房総市	南三原小学校	11/5	全学年	現代舞踊
57	南房総市	和田小学校	11/15	全学年	バレエ
58	木更津市	金田小学校	11/30	3年生	和太鼓
59	君津市	貞元小学校	9/29	5・6年生	現代舞踊
60	君津市	小櫃小学校	12/8	3年生	パントマイム
61	富津市	湊小学校	12/7	5・6年生	アフリカの太鼓
62	富津市	天神山小学校	12/12	3~6年生	アフリカの太鼓
63	富津市	竹岡小学校	11/29	3~6年生	パントマイム
64	千葉市	大宮台小学校	10/24	4年生	落語
65	千葉市	若松台小学校	10/4	4年生	落語
66	千葉市	横戸小学校	10/26	1・2年生	パントマイム
67	千葉市	高浜第一小学校	10/3	5・6年生	アフリカの太鼓
68	千葉市	弁天小学校	11/4	3年生	古楽器
69	山武市	蓮沼小学校	11/2	3年生	演劇
69校 30市町			6/9 現在		

ネットワークを強化して、子どもの諸課題の解決をしたい！
 様々な連携でもう一段・もう一步前にすすめるために！

子ども劇場千葉県センターは、「チルドレンファースト」の子ども観を共有する団体正会員をはじめ、諸団体や人々と協働し、連携し、支えられ、事業を実施してきました。2016年度・2017年度の2年間の事業の方針は、子どもや養育者の諸問題解決のために、ネットワークを更に広げる！という目標をもちました。2年間の具体的な事業を、エクセレントNPOの視点で目標設定をし、もう一段、もう一步前にすすめるためのネットワークづくりを描いてみました。

ネットワークを広げる市民性

ネットワークを受け入れるしくみづくり。寄付獲得の層の拡大

チャイルドライン・ママパラインの受け手ボランティア

●多様なボランティアを受け入れるしくみや体制づくり
 現在100名のボランティアがかかわっています。必ずしも受け手希望の方だけではないため、事業の中に受け手以外の多様なボランティアを受け入れる機会やしくみ、体制をつくる必要があります。

●受け手ボランティアの市民意識・当事者意識を高める

子ども・養育者・社会で今何が起きているか、現状を学び視野を広げ、市民意識を高めていくことと、ミッションの実現をいっしょにすすめる一員になるよう、また、ボランティアとしての誇りももてるよう、運営に心を砕く。

●ボランティアを大切に

ボランティアをねぎらい、感謝の声をかける。ボランティアファーストで。

文化芸術地域コーディネーターの人数を増やす

●長期入院の子ども・福祉施設にいる子どもを笑顔にする事業

9年間で19人のコーディネーターを育成してきました。日常的に芸術文化活動を行い、蓄積した専門性を、この事業のコーディネーターとして登録目標25人に。(千葉市 柏市 野田市 船橋市)

●芸術家派遣事業

今現在20人のコーディネーターがいます。団体正会員との連携で市町村に拡げ継続していくため学校の近くに、より多くのコーディネーターを増やし、学校とつながっていくことが、子どもの生活圏での文化環境を変えていきます。30人を目標にします。

寄附文化を根付かせる・寄付獲得への挑戦

NPOが社会に貢献できる事業を開拓し、わかりやすく共感を得られるような発信が大切で、団体内の自己満足と、団体内だけで通用する言葉や評価に陥ってはいけません。寄付にはつなげられませんが、寄付獲得は外部や第三者の評価を積極的に受けるということ。どの層にどのような方法で寄付を得るのか、行動プランを作成します。

ネットワークは組織安定性の基盤を高める

三役会 理事会機能 つなぐ力 発信力 コーディネート力

●三役会や理事会が機能することを最も大切にしています。

隔月開催の理事会の出席率はほぼ100%。理事全員が事業を受け持ち、計画から実行までを行います。NPOの経営感覚をもち、PDCAのサイクルを頭に入れ、評価でき発信できる理事像をめざしています。刺激し合う関係づくりや緊張感、理事個々の積極的な発信力が、フレキシブルに機能する理事会をつくりまします。

●リーダーである理事のコーディネート力

団体内・団体外の情報や人材、資源を有効に活かしてつないでいくコーディネート力があると、組織の安定性は高まります。その視点をもつことによつて、情報や人材が宝物になります。常にネットワークのアンテナを高くすることです。

●理事個人が様々な人や団体を知る場に参加する

我が団体のためのネットワークのみを求めるのではなく、共同でミッションを実現する対等感のあるネットワークづくりが理想的です。そのためには、他団体の活動や異業種の活動に参加して人を知ることが大事です。ネットワークの最初は、以外と個人と個人の出会いから始まることが多いものです。

子どもの人権でつながるネットワークの強化

■「こども人権ネットちば」とのネットワーク

「子どもの権利条約の理念」を基本とする団体であり、子どもの権利を守り、実現することに賛同する市民と団体のネットワークを形成し、県内に人権を基盤とした政策・制度・仕組みをつくることを目的として活動しています。

社会変革のための提言や“見える化”は、単体では限りがあります。子どもの権利条約の子ども観、子育て観を共通にする千葉県内の子ども・子育ての団体を「子どもの人権」という横軸でつなぎ、市民から支持される施策提案活動に結集していくよう、組織づくりと強化が必要です。子ども劇場千葉県センターは、団体正会員と共に、このネットワークに積極的に参画していきます。

①「子どもフェア2016 in ちば」の開催 実施済

4月23日(土)～24日(日) きぼーる広場

②千葉県子どもの人権懇話会

日時：2016年11月3日(木・祝日) 子ども交流館

③ちばこどもおうえん広場2016(オレンジリボンキャンペーンの一環) 参画

日時：2016年11月3日(木・祝日) きぼーる広場・子ども交流館

■団体正会員とのネットワーク

団体正会員とは様々なことで日常的に連絡・連携をとる力強いパートナーです。子ども劇場千葉県センターは県域を、団体正会員は市域を視野に入れ、子どもや養育者の地域課題を解決しています。学習や研修も行い、学び合う関係でもあります。

市民に提言することで生まれる新しいネットワーク

「傾聴事業」で「芸術文化事業」の2視点による提言活動

千葉県センターの事業は、子どもの成長発達を保障する生活文化環境を創ることと、積み重ねた事業で得た成果や効果、子どもや養育者が置かれた状況を発信するという「社会変革性」を掲げています。

●「チャイルドライン千葉」ではフリーダイヤルで年間8千件を受け、揺れ動く子どもたちの今を受け止めています。「ママパラインちば」では、昨年198件を受け、ほぼ100%が県内からです。子どもや養育者の声は、生きることを辛くさせる原因や、改善すべき社会的課題があることを示唆しています。

●子どもの芸術文化に長く携わり、この急激な時代の変化の中ではなおさらのこと、子どもの成長発達にとつて、芸術文化に触れることやあそびは不可欠だといふ思いを強くしています。自己肯定感の低さや、コミュニケーションをとる力が苦手という子どもや養育者の現状を変えるひとつの手段として、芸術の持つ力やその効果を社会に示していきます。

①チャイルドライン千葉、ママパラインちば、傾聴の文化を拡げる講座等、受容と共感による社会変革性。

②長期入院している子どもや児童福祉施設にいる子どもにも笑顔を届ける活動、芸術家派遣事業、はじめてのおしほい等、芸術文化やあそびによる社会変革性。

この2つの視点で効果や変化していることを提言にし、子ども劇場千葉県センターとして社会に発信する時期がきています。

事業を通じて、学校 県及び市町村行政 子ども・子育て関係機関とどうつながる？

毎年、事業を通じて出会う人・団体が増えてきています。公的機関とのつながりは、実績を積み上げ、継続することがまずは大切です。ただそれを繰り返すのではなく、行政課題を共有して市民も一緒に解決する姿勢が必要です。市民からの一方的な主張に終えず、関係した団体とのもう一段・もう一步関係性が変化するような課題を見つけ出し、信頼を基盤とした連携の形を模索し研究していきます。

●「芸術家派遣事業」は、昨年39校、今年度70校で実施
 県内の学校でこうした授業を広げ、受託が終わってもすべての子どもに行き渡る事業として継続を願っている。事業の効果を教育委員会等に伝える機会をもち、理念を共有し、県や市町村行政が、学校の授業に芸術家を取り入れるための独自の予算計上を考えてもらうよう、働きかけていく。

●創立以来、毎年継続している54市町村行政訪問

カード配布等理解促進・信頼関係はすすんだ。市町村の行政課題と、NPOの現場のリアルさから導き出した課題とのマッチングを考え、具体的で実感的な新たな訪問目標を設定する。

●病院 児童相談所や乳児院等、児童福祉施設での事業実施

困難をかかえた子どもたちも笑顔になることを願って始めた事業で、効果もわかりやすく、福祉的な意味合いが強い事業。公的な財源の可能性を働きかけることと、「できてよかった・やってくれてありがとう」から一歩すすめる、日常的につながり、相互で当てにする・される関係・連携を見つけ出す。

●県内19の電話相談機関との交流・情報交換

●千葉県要保護児童対策協議会

●事業の後援を行政・関係機関・新聞社等11か所

●千葉県内の公共ホール49施設

団体正会員へのネットワークに関するアンケートから

まつりやフェス等、行政や市内の団体とネットで行う事業のケースが多い。

★よかったこと

- ・自分たちだけでは実現できないことがネットワークによって実現できる。内容的にも多彩になり、豊かになった。
- ・情報発信が広くできるようになる。
- ・市内で顔見知り広がる。・視野が広がる。・出会いが増えた。
- ・一団体ではできない規模の企画ができた
- ・ネットワークがネットワークを呼び、思わぬところに共感者がいたりする。
- ・自分たちで使えないところが使えて借りられる。
- ・行政の力で学校へのチラシ配布がスムーズだった。
- ・子どもたちの成長と一緒に喜び合える。
- ・他の団体の活動を知り、自分たちの活動の理解も得られ、協力し合える部分が見つかった。

★うまくいかなかったこと

- ・連絡を密に。情報量の違いで行き違いが起こる可能性がある。
- ・温度差を感じた。よい関係性を持続するにはエネルギーが必要。
- ・信頼関係をつくるのに時間がかかる。それぞれの思いが強くなってしまふことがある。
- ・子どもに対する考え方や理念が異なり、まとまるのが難しい。

◆「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律（案）」が、参議院本会議で全会一致で可決・成立！

会期末最後の6月1日、危ぶまれていた「特定非営利活動促進法の一部を改正する法律(案)」が、参議員本会議で全会一致で可決・成立しました。2011年6月や2012年4月程の大改正ではありませんが、確実に一步改善されました。

【NPO 法人全般】

(1) 縦覧期間等の短縮

認証申請の添付書類(設立・変更とも)の縦覧期間を2ヵ月⇒1ヵ月に短縮する。
同時に、補正期間を1ヵ月⇒2週間に短縮する。

(2) 貸借対照表の公告＝資産の総額の登記の廃止

貸借対照表を作成後遅滞なく、次の方法のうち定款で定める方法により公告しなければならない。

①官報、②日刊新聞紙、③電子公告(内閣府のポータルサイトを含む)、④公衆の見やすい場所に掲示
これにより、毎年事業年度終了後に行っている「資産の総額の変更登記」を廃止する。

(3) 内閣府ポータルサイトにおける情報の提供の拡大

これまでもNPO法人のデータベースとして運用はされていたものの、今後所轄庁及びNPO法人として“公表するよう努力義務化”された。これにより、情報提供の充実が期待される。

(4) 事業報告書等の備置・閲覧期間の延長

NPO法人が事業報告書等を事務所に備置・閲覧する期間を“翌々事業年度の末日までの間”⇒“作成の日から起算して5年経過した日を含む事業年度の末日までの間”に延長する。
同時に、所轄庁での閲覧・謄写期間も過去3年⇒過去5年間に延長する。

【認定 NPO 法人等】

(5) 海外送金又は金銭持ち出しの事前提出義務の見直し

海外送金又は金銭持ち出しに関する書類をその都度事前提出⇒毎事業年度1回所轄庁へ事後提出すれば足りる。

(6) 役員報酬規定等の備置・閲覧期間の延長

認定NPO法人が役員報酬規程等を事務所に備置・閲覧する期間を“翌々事業年度の末日までの間”⇒“作成の日から起算して5年経過した日を含む事業年度の末日までの間”に延長する。
同時に、所轄庁での閲覧・謄写期間も過去3年⇒過去5年間に延長する。

(7) 仮認定 NPO 法人の名称の変更

「仮認定」NPO法人の名称を、「特例認定」NPO法人に改める。

【施行期日】

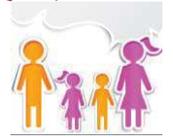
- ・(3)は公布の日＝平成28年6月7日から
- ・(1)・(4)～(7)は平成28年6月7日から起算し1年を超えない範囲内において政令で定める日から
- ・(2)は平成28年6月7日から起算し2年6ヵ月を超えない範囲内において政令で定める日から

【当面の留意点】

- (3)が既に施行されましたが、実質的には今までと特段変わることはありません。“今まで掲載を拒否してきましたが、公表するよう今後は努力する”ことが、法定化されたものです。
- それ以外の多くの変更点は、「6月7日から起算し1年を超えない範囲内で政令で定められた日から施行」になります。これらの詳細が明らかになるのは、今年の秋以降になると思われます。
- “資産の登記の廃止”については、「6月7日から起算し2年6ヵ月を超えない範囲内で政令で定められた日から施行」となり、かなり先になります。組合等登記令などの関連法の改正も絡むからであります。“貸借対照表の公告の法定化”も同時に義務化されますが、定款改正などの検討はまだまだ先で構いません。(少なくとも内閣府令等が出されてからが良いと思います)。

子どもたちの今と未来を応援したい！

NPO法人 ちば子どもおうえんだん 理事長 湯浅美和子



何らかの理由（死別・貧困・虐待など）で家庭で暮らすことができない子どもたちを、公的責任として養護する「社会的養護」。社会的養護下の子どもは日本全体で約4万6000人、その80%以上が乳児院や児童養護施設という施設で生活しています。

複雑な問題を抱える子たちにとって、専門性の高い施設での養育の充実を願いながらも、養育の場が施設優先でいいのだろうか、特定の大人との愛着関係を築く「家庭」として「里親」という選択肢も大切にしたい、18歳までは何とか「法」に守られているが、その後の子どもたちの巣立ち・就職・進学・暮らしを応援していきたい……。

そんな思いを持ちより2015年4月、県内全体の社会的養護下に育つ子たちを応援する「ちば子どもおうえんだん」を設立、9月にNPO法人となりました。

立ちあがってまだ1年ですが、昨年度「千葉市里親制度推進事業」の委託を受け、新しい里親さんの開拓と里親さん支援のための事業を進めています。「里親って、何？」という方がまだまだ多いのが現実。「新しい家族のカタチ」として里親さんのことを

もっと知ってほしい。また今年度は「社会的養護下の子どもたちの自立支援基金（仮）」を立ち上げ、広く県民の皆さんに応援を呼びかけます。

そして、子どもに寄り添う活動をする団体と繋がりたいと、4月にQiball（きぼーる）で開催されている「子どもフェア」に参加団体として名を連ねました。そのお仲間と一緒に、11月3日（祝）に「ちば子どもおうえんだん広場」を開催します。これは、来年12月に予定されている「日本子ども虐待防止学会ちば大会」のプレ企画との位置付けもあり、大会を契機に子どもを応援する団体が繋がり、継続的に活動していくことを目指しています。

日々流れる子どもたちへの虐待や遺棄の報道に、多くの人が心を痛めています。つらい経験を負った子たちの未来を、多くの皆さんと一緒に応援したい。また一度は、親としてわが子をやさしく抱きあげたその同じ手が、わが子への虐待に向かった理由は何なのか、そこにも辛く悲しい過去が見え隠れします。重い課題ですが、様々な人たちと緩やかなネットワークを築きながら、子どもたちを応援していきます。

お金の大切さを考えよう

SMBCコンシューマーファイナンス株式会社

千葉お客様サービスプラザ 大平 美由紀

私からのメッセージ



私ども、SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 千葉お客様サービスプラザでは、地域のコミュニケーション拠点として社会やお客さまのニーズを感じ取り、それらにお応えしていくための地域に根ざした以下のような活動を行っています。

- ・地域の催事などでのブース出展や子ども向けダンボールクラフト貯金箱作り
- ・物々交換の時代を体験することでお金の成り立ちや役割を学ぶ「カードゲーム／お金の役割」の開催
- ・未来を担う学生や地域の方々への金融経済教育セミナーの開催
- ・展示会やワークショップなどにご利用いただける無料の貸出しスペースの設置

子ども劇場千葉県センター様には、私ども千葉お客様サービスプラザの無料貸出しスペースを継続してご利用いただいております。そのご縁もあって、今年の4月にきぼーるにて開催された「子どもフェア 2016 in ちば」にブース出展とダンボールクラフト貯金箱、おこづかい帳の作成で参加させていただきました。

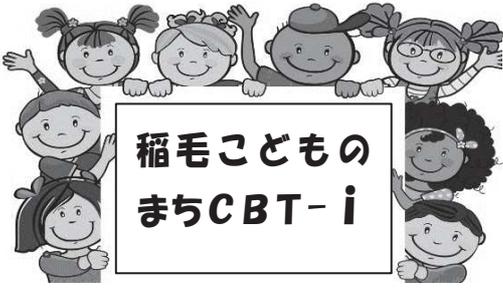
また、「子どもフェア」以外にも「子どものまち」など、県内で行われている各種子ども向けイベントにも参加をしており、色々な場所で「またお会いしましたね！」とお声をかけていただいております。

その様な活動を通じ、これまで多くの子どもたちに貯金箱やおこづかい帳作成などの体験からお金の大切さについて楽しく学んでいただいております。

組み立てたダンボールクラフト貯金箱やおこづかい帳は、好きな色を塗ったり、絵を描いたり、シールを貼ったりなどして自分だけのオリジナルのものを作ることができます。何色に塗るか、何を描くかで考え込んでしまう子どももいるので、どんな貯金箱にしたいのか教えてもらいながら、自分らしい大切にしたいような貯金箱と一緒に作っています。

子どもたちと接するたびに新しい発見があり、自分にはない豊かで自由な感性に刺激を受けています。

今後もこのような活動を通して、たくさん子どもたちとご家族の方々にお金の大切さについて考えてもらう機会をお作り出来ればと考えています。



～もっと子どもたちの身近な場所で「こどものまち」を開催したい～

日時：3月20日（日）10:00～15:00
 場所：千葉市小中台地域福祉交流館
 主催：稲毛こどものまちCBT-i実行委員会
 事務局：（特）千葉中央おやこ劇場

参加者
 子ども61名
 子ども実行委員37名
 大人スタッフ 30名

★大きな会場・たくさんの参加者もいいけれど、もっと子どもたちの身近な場所で「こどものまち」を開催したい！

こどものまちCBTは、この6～7年の間に成長した子どもと大人から「自分の地元でやりたい」という声があり、「地域版・こどものまち」が広がっています。

千葉中央おやこ劇場は、理事2名が実行委員会幹事として関わっているものの、会員の子どもの参加が少なく、子どもがまちをつくることへの関与が薄くなっていることが悩みの種でした。参加者が1,000名を超える「こどものまち」のよさはたくさんあるけれど、この場所に参加できない子どもたちにも目を向けたいと考えていました。

★条件をリサーチ！

思い切って「稲毛こどものまち」に挑戦！

- ① CBTが大好きな小学生の会員がいる
 - ② 稲毛区小中台地域の知り合いでこどものまちをやりたい人がある
 - ③ 小中台地域は2小学校で1,800名と児童数が多い
 - ④ CBT実行委員メンバーの協力で、千葉市の協力が得られ、小中台地域福祉交流館、全館が貸りられる
 - ⑤ 千葉北おやこみる・あそぶ会の協力が得られる。
 - ⑥ 千葉中央おやこ劇場が事務局を担当する
- いろいろな条件を整えたら「稲毛こどものまち」ができるかもしれない！と一歩先が見えてきました。

★小～高校生の子どもたちのコアスタッフが中心に！

まずは大学生・大人を集め「稲毛こどものまち実行委員会」を組織。関わる大人は「こどものまち」の概念を勉強するところから始め、役割分担をしました。11月・12月の準備委員会を経て、子どもの実行委員メンバー（コアスタッフ）を募集したところ、小学生～高校生まで37名が集まりました。コアスタッフ会議は1月～3月の4回。低学年が多く、なかなか話し合いが進まないこともありましたが、元気な低学年としっかりとやりたいことを持っている高学年を、CBTで成長してきた高校生が受け止めました。おやこ劇場の大学生やCBTに初めて関わる大人は、悩みながら子どもとの関係づくり、大人の役割を考えました。

編集後記 朝顔の生垣をつくった。八十八夜の頃、同じ袋から蒔いた種だが、もう毛が生えた太い茎を伸ばし、しっかり支柱に巻きついている苗もあれば、細い茎をヒョロヒョロと伸ばし、頼るところを探している苗もある。こういう苗が、みんなが揃って咲き終わった後に、小さな鮮やかな花を見せてくれることもある。すべて咲ききるまで大切に世話しよう！その頃には秋風が吹いているかもしれない！（岡田）

★3月20日、さあ本番！

事前の申し込みには60名を超える申し込みがありました。（県センターの学習会で学んだGoogleフォームを活用）コアスタッフと合わせて来場者は100名程度。30名の大人がそれを見守りました。



市役所で市民登録しよう！



いらっしゃいませ

公共の仕事、調理の仕事、食べ物の販売、遊びコーナーに、コアスタッフは自信をもって自分の役割を果たしていました。「大人は入れません。でも案内をしてあげますよ！」「いらっしゃいませ！」と呼び込みをしたり、銀行員になって給料を払ったりする姿をみて、子どもを参加させた保護者が驚く場面がありました。こうして10時～15時、一日だけのこどものまちはあっという間に終了。

★子どもたちから「またやりたい」「次はいつ？」

という答えが返ってきた

コアスタッフの保護者からも「子どもから『企画からやりたい！』と聞いた時は驚いたが、皆で何かを作り上げていくこと、そして達成感を味わうことはなかなか親が教えてあげられることではない。当日手伝いに行っただけが知らなかった娘の顔が見られてとてもびっくりしたし嬉しかったです」との声があがっています。

大規模なCBTとは違った、子どもたちひとりひとりと関わることができた、稲毛こどものまち。子どもたちの力を再認識し、成長を喜びあうことができました。

次回に向けては、子どもたちのやりたいおもしろいをより深め、広げながら7月から動き始める予定です。

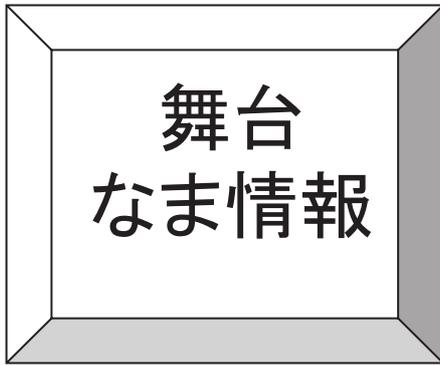
（大塚記）

千葉市の「こどものまち」の歴史

こどものまちCBT（Chi・Ba・Town）は、子どもたちに市民としての自覚と責任を持ってもらうために千葉市が展開している「こどもの参画事業」の一環として位置づけられています。

第1回目は2009年4月、こども環境学会・千葉大会のワークショップとして開催され、その年の夏休みには第2回目が開催され、初代こども市長が誕生しました。

2012年の第5回以降は、毎年8月の3日間に開催。「きぼーん・子ども交流館」を主会場とし、年を追うごとに参加者が増加しています。（2015年8月21日～23日、のべ参加者約1400名）主催は市民と千葉市とで構成される「実行委員会」で、現在では企業などとも連携した幅広い協働事業となっています。



- 県内の子ども劇場の鑑賞会で観たい作品がありましたら直接その団体にお問い合わせください。
- 下見等については千葉県内の申し合わせ
 - ・役員の下見は5名まで無料
 - ・その子どもは1人1,000円
 - ・その他は1人2,000円
(子ども、おとな同額)

第81号別冊〈2016年8月～10月〉

舞台劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◇ ましゅ & Kei	Kabarett×かばれっと	8/27	14:30/18:00	公津の杜コミュニティセンター	成田	小4～大人
◇ 劇団わらび座	ミュージカルげんない	9/4	17:00	佐倉市民音楽ホール	こどものあしたプロジェクト	小学生～大人

人形劇・影絵劇

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
☆ 人形劇団ポポロ	ばけものづかい	9/24	11:15	白井市文化会館中ホール	白井	4才～大人
☆ さんさん劇場	よせ鍋寄席	10/2	18:30	習志野市菊田公民館	ならしの	小4～大人
☆ 劇団影法師	影絵劇「スイミー・モチモチの木・このゆびとまれ」	10/10	14:00	四街道市文化センター	影絵劇公演実行委員会	幼児～大人

音楽

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
♪ オペラシアターこんにゃく座	はじめてのオペレッタ	8/25	10:45	八千代市市民会館リハーサル室	八千代	0～5才親子
♪ アサンテプラン	リンゴマコンゴの伝統音楽とダンスエンターテイメント	9/3	18:30	八千代市市民会館小ホール	八千代	幼児～大人
♪ X-jam	シモシュとあそぼ！音であそぼ！	9/11	11:30	行徳公民館レクホール	市川行徳	幼児～大人
♪ ともしび音楽企画	ナメちゃんのあったかわいらいライブ	9/21	10:30	千葉市土気あすみが丘プラザ	千葉県センター	0～3才親子
♪ スタジオ・イヴ	水嶋一江&ストリングラフィ・アンサンブル 糸の森の音楽会	9/22	11:30/15:00	八千代台文化センター	八千代	0～3才/幼児
♪ the tote	the tote	10/16	未定	市川市文化会館ローズルーム	市川行徳	小学生～大人
♪ 石川寛子 川瀬由紀子	はじめてのバイオリンコンサート	10/20	11:00	八千代台文化センター	八千代	0～3才親子

芸能・他

団体名	作品名	日程	開演時間	場所	主催団体	観客対象
◎ マゼル・ジャパン	THE 子ども寄席	8/23	18:00	千葉市民会館小ホール	千葉中央	幼児～低学年
◎ JIN OFFICE	ジン・マサフスキーのサイレント・コメディ・マジックショーpart2 エンコントロ	10/10	14:00	市川市文化会館大会議室	市川北	幼児～大人
◎ パントマイムユニットTORIO	KOYOマイムライブ2！	10/23	未定	千葉市幕張勤労市民プラザ	千葉西	小学生～大人

きらきらわくわく情報

2016年8月～10月

活動	日程	場所	主催団体	
▪ 乳幼児とお母さんのための遊びの場 ぴっぴ	8/4.25.9/12.29.10/6.31	袖ヶ浦市神納コミュニティセンターほか	袖ヶ浦	乳幼児の活動
▪ おしゃべりほっとスペースきらきらひろば	8/5.9/2.16.10/7.21	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ リラックスココヨガ	8/5.26.9/9.23.10/7.21	市川市曾谷公民館	市川北	
▪ おしゃべりほっとスペース こーひーかつぷ	8/22.9/5.10/3	市川市菅野公民館	市川北	
▪ おやこサークル びよんびよんキッズ	8/25.9/8.29.10/13.27	市川市信篤公民館	市川中央	
▪ おしゃべりほっとスペースぴよぴよひろば	8/25.9/8.10/13.27	市川市鬼越鬼高地域ふれあい館	市川中央	
▪ おやこふれあい体験あそび Active Kids	8/25.9/8.29.10/13.27	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ おやこサークル わいわいキッズ	8/26.9/9.23.10/14.28	市川駅南公民館	市川中央	
▪ 乳幼児とお母さんのたまり場 たまごキッズ	8/26.9/9.16.23.30.10/7.14.21.28	四街道市四区集会所	四街道	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ フィンガーペインティング	8/28	習志野市谷津公民館	ならしの	
▪ おやこサークル わくわくキッズ	8/30.9/13.27.10/4.25	市川市勤労福祉センター	市川中央	
▪ 乳幼児とママのための居場所 ほわりん	8/30.9/15.10/4.20	袖ヶ浦市代宿児童館	袖ヶ浦	
▪ 乳幼児と親のワークショップ リズム体操	9/1.15.29.10/6.20	千葉市子ども交流館多目的室	千葉中央	
▪ 母と乳幼児のほっとスペース はっぴいスペース	9/1.15.10/6.20	千葉市小中台地域福祉交流館	千葉北	
▪ ママたちのエアロビクラブ シェイク	9/5.12.10/3.17	市川市曾谷公民館	市川北	
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ火曜日	9/6.27.10/11.25	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ 青空保育 どんぐりクラブ	9/6.27.10/4.25	白井市七次第一公園ほか	白井	
▪ 親子であつまれ!	9/7	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳	
▪ 幼児サークル クレヨンクラブ木曜日	9/8.29.10/13.27	市川市行徳公民館	市川行徳	
▪ 0～3才親子の居場所 びよんびよんクラブ	9/14.28.10/12.26	八千代市ふれあいプラザ	八千代	
▪ 親子クラブ プレンジ	9/16.30.10/14.28	市川市曾谷公民館	市川北	
▪ 親子体操&てあそびうた	9/28.10/26	習志野市屋敷公民館	ならしの	
▪ 乳幼児の親子のためのサークル ぶらんこ	10/7.21	流山市内公共施設	流山	
▪ 大沢愛さん(表現教育研究所)ワークショップ	10/14	成田市中央公民館(予定)	成田	
▪ 幼児親子体験ひろば はびはびクラブ デイキャンプ	10/30	習志野市香澄公園	ならしの	
▪ 子育て広場 はっぴのおうちwithおそと	毎週火・木	こどもユニットWakaba事務所	Wakaba	
▪ 乳幼児サークル	各月下旬	印西市内集会所	いんざい	
▪ 子どもキャンプ	8/4～7	長野県諏訪郡立場川キャンプ場	Wakaba	
▪ 子どもキャンプ	8/5～8	山梨県上野原市平野田キャンプ場	佐倉	
▪ 子どもキャンプ	8/9～12	栃木県安らぎの森キャンプ場	流山	
▪ 子どもキャンプ	8/11～13	神奈川県相模原市みの石滝キャンプ場	千葉中央	
▪ 高学年キャンプ	8/12～14	東京都奥多摩町中茶屋キャンプ場	市川行徳	
▪ 子どもキャンプ	8/19～22	埼玉県秩父市浦山口キャンプ場	成田	
▪ 子どもキャンプ2016	8/20～22	埼玉県秩父市中津川村キャンプ場	八千代	

	活動	日程	場所	主催団体
いろいろ体験活動	▪ 低・高学年合同キャンプ	7/31～8/2	東京都奥多摩町中茶屋キャンプ場	市川中央
	▪ ワクワクドキドキ科学教室	8/5	幕張ファミリーハイツ集会所	千葉西
	▪ 三番瀬いきもの観察会	8/6	船橋市三番瀬	いんざい
	▪ 子どもキャンプ	8/12～15	日光市湯西川安らぎの森	野田
	▪ 子どもキャンプ	8/13～14	千葉市昭和の森	緑区
	▪ みずあそび	8/15	八千代市村上根上神社	八千代
	▪ わんぱく広場	8/21	市川市東海面公園	市川行徳
	▪ なつやすみアートひろば	8/21	矢切公民館・まつど市民サポートセンター	まつど
	▪ デイキャンプ	8/24	浦安市今川少年の広場	浦安
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	8/24.26.31	四街道市四区集会所	四街道
	▪ 小学生あつまれ！	8/26.9/23	市川市行徳駅前公園研修室	市川行徳
	▪ あそぼの会 夏まつり	8/27	流山市駒木台福祉会館	流山
	▪ 親子キャンプ	8/27～28	柏市しょうなんゆめファーム	白井
	▪ ぴっかぴかの泥団子作り	8/28	千葉市昭和の森	緑区
	▪ お泊まり会	8/29～30	佐倉市上志津原とびあ	佐倉
	▪ 子ども縁日打ち上げ	8月上旬	印西市内公民館	いんざい
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	9/2.7.9.14.16.21.28.30	四街道市四区集会所	四街道
	▪ 夢のまちを作ろう～ドリームタウン～	9/4	成田市中央公民館(予定)	成田
	▪ 親子であそぼ！「絵本からひろがるあそびの世界」	9/8	袖ヶ浦市長浦公民館	袖ヶ浦
	▪ くぼた☆まさとさんのわくわく工作	9/10	船橋市海神公民館	船橋
	▪ 月例自然遊び体験 運動祭	9/11	千葉市山崎さんちの空き地	Wakaba
	▪ 野菜の種取り	9/11	千葉市ゆうちゃんファーム	緑区
	▪ お月見会	9/15	流山市内公共施設	流山
	▪ ま・く・は・ま～砂の造形をみんなで作ろう～	9/19	千葉市まくはりの浜	ならしの
	▪ 森deアートフェス	9/22	佐倉市モモの広場	佐倉
	▪ ピザがまの森で遊ぼう	9/22と10月下旬	印西市内栗林	いんざい
	▪ 和太鼓体験2016	9/26,10/2.16.31	八千代市市民会館	八千代
	▪ あそびの会 林の中であそぼう	9月	未定	千葉北
	▪ 子どもがつくるまち ミニいちかわ2016	10/1～2	市川市行徳駅前公園	市川行徳
	▪ 放課後子ども教室 出会い体験夢ひろば	10/5.7.12.14.19.21.26.28	四街道市四区集会所	四街道
	▪ ダンスアカデミー	10/10.15.22.29,11/6	佐倉市内公民館・八千代市市民会館	佐倉
▪ 本町通り秋のきらゆめ	10/15	船橋市本町通り	船橋	
▪ ミニあそびつく お月見会	10/16	白井市七次第一公園	白井	
▪ 千葉の歴史を探索 大椎城	10/16	千葉市土気大椎城	緑区	
▪ あそびのじかん デイキャンプ	10/23	野田市閑宿あおぞら広場(予定)	野田	
▪ びりのクラウンワークショップ	10/23	船橋市内公民館	船橋	
▪ どんリンピック～ドラマ缶風呂やどろんこ競争であそぼう	10/23	成田おむすびプレーパーク	成田	
▪ 月例自然遊び体験 モノレール遠足	10/23	千葉市小倉台公園	Wakaba	
▪ あそぼの会 ハロウィン	10/28	流山市駒木台福祉会館	流山	
▪ あそびの会 おいもほり	10月	千葉市100万本こもれびの里	千葉北	
講演会・学習会 ワークショップ	▪ 人形劇「ばけものづかい」事前ワークショップ	8/23	未定	白井
	▪ 舞台劇「おれたちともだち」事前交流会	10/15	袖ヶ浦市民会館中ホール	袖ヶ浦
	▪ 子育て応援メッセ2016inふなばし	10/16	船橋市中央公民館	子育て応援メッセ 実行委員会

子どもと文化 イベント情報

- ◆ **オペラシアターこんにゃく座**
「はじめてのオペレッタ」
歌/豊島理恵 ピアノ/井口真由子
8月25日(木)10:45~11:30
場所:八千代市市民会館リハーサル室
対象:0~5才親子
参加費:親子で1,500円(追加1,000円/人)
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **鑑賞会「Kabaertt x かばれっと」**
~ましゅ&Keiの小作品集~
Barのような雰囲気の大人数のエンターテイメントライブ。小作品集なので子どもも飽きずに楽しめます!! 刺激的な世界を堪能しに来てください。
8月27日(土)①14:30~②18:00~
開場はどちらも開演15分前
場所:成田市公津の社コミュニティセンター
対象:小学4年生~大人(未就学児入場不可)
参加費:2,000円(当日2,500円)
主催/(特)子どもプラザ成田
Tel.0476-29-1387
- ◆ **ピース・フェスティバル**
~いま、力をひとつに~
シンポジウム、被爆者の証言、きたがわてつコンサート
8月28日(日)12:15~15:45
場所:千葉市文化センターアートホール
未就学児の入場はご遠慮ください。
参加費:大人1,500円、学生・障がいのある方1,000円、小中高生無料
主催/核兵器廃絶をめざす千葉県平和事業実行委員会
問合せ/千葉県子ども核廃047-457-2065
- ◆ **リンゴマによるコンゴの伝統音楽とダンスエンターテイメント**
八千代市1%支援制度対象事業
9月3日(土)18:30開演
場所:八千代市市民会館小ホール
対象:幼児~大人
参加費:4才以上2,000円
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **ミュージカル「げんない」**
劇団わらび座 ~江戸時代に自由を唄え、100年先を予感した平賀源内が追いかけた夢のおもちゃ箱が平成の世にはじける!
9月4日(日)16:30開場 17:00開演
(当日座席指定15:30~)
場所:佐倉市民音楽ホール
対象:小学1年生~大人
参加費:大人3,600円 親子4,800円
子ども2,000円 学生2,500円
障がい者1,000円
主催/こどものあしたプロジェクト
問合せ/(特)NPO佐倉子どもステーション
Tel.043-487-1655
- ◆ **親子であそび!**
チンブイ! 大きくな~れ
「絵本からひろがるあそびの世界
~きんぎょがにげた~」
9月8日(木)11:00~12:00(受付10:45~)
場所:袖ヶ浦市長浦公民館多目的室
対象:0~4才親子 25組
参加費:子ども300円 大人1,200円
主催/(特)子ども一歩袖ヶ浦
Tel.0438-63-2850
- ◆ **ま・く・は・ま~砂の造形をみんなで作ろう~**
幼児から小中高生、大人みんなで楽しめます。お父さんも大歓迎!
9月19日(月祝)10:00~12:00
場所:千葉市まくはりの浜
対象:幼児~大人
参加費:親子2人1組1,000円 1人追加500円
幼児親子1組700円 幼児1人追加300円
主催/ならしの子ども劇場
Tel.047-451-3676
- ◆ **0123才の親子のための音楽会**
ともしび音楽企画「ナメちゃんのおったかわいらいライブ」
9月21日(水)10:30開演
場所:千葉市土気あすみが丘プラザ
参加費:親子1組1,500円、
子ども500円 大人1,500円
主催/(特)子ども劇場千葉県センター
Tel.043-301-7262
- ◆ **水嶋一江&ストリングラ**
フィ・アンサンブル公演
「糸の森の音楽会」
八千代市1%支援制度対象事業
9月22日(木祝)①11:30~(0~3才)
②15:00~(幼児)
場所:八千代台文化センター
対象:幼児~大人
参加費:3才以上2,000円
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **子どもがつくるまち**
ミニいちかわ2016
10月1日(土)10:00~15:30
10月2日(日)10:00~15:00
場所:行徳駅前公園
対象:4~18才(4~6才は要事前申し込み)
参加費:材料費300円(2日間有効)
主催/(特)市川子ども文化ステーション
行徳地区Tel.047-395-7670
19才以上の大人ボランティア募集中!
事前からでも、当日だけでも大歓迎!!
※(特)は特定非営利活動法人を略しています
※参加申込、場所、参加費、時間等の問合せは各主催団体をお願いします。
- ◆ **影絵劇「スイミー・モチモチの木・このゆびとまれ」**
劇団影法師公演
10月10日(月祝)14:00開演
場所:四街道市文化センター大ホール
対象:幼児~大人
参加費:大人2,000円(当日2,500円)
親子2,500円(当日3,000円)
小中高生・障がい者1,000円
主催/影絵劇公演実行委員会
問合せ/(特)四街道子どもネットワーク
Tel.043-423-5381
- ◆ **子育て応援メッセージ2016in**
ふなばし
子育てに役立つ情報や楽しいワークショップ、公演など盛りだくさん!
10月16日(日)
場所:船橋市中央公民館
主催/子育て応援メッセージ実行委員会
問合せ/(特)船橋子ども劇場
Tel.047-424-0851
- ◆ **はじめてのバイオリンコンサート**
バイオリン/石川寛子 ピアノ/川瀬由記子
コープみらい助成事業
10月20日(木)11:00開演
場所:八千代台文化センター
対象:0~3才親子
参加費:親子で1,500円
主催/(特)子どもネット八千代
Tel.047-486-4699
- ◆ **あそびのじかん デイキャンプ**
10月23日(日)10:00~16:00
場所:野田市閑宿あおぞら広場(予定)
対象:小学生の親子25名
参加費:ひとり1,000円
主催/(特)野田子ども劇場
Tel.04-7124-8419
- ◆ **パントマイム公演**
「KOYOマイムライブ2!
~かかしになるために~」
山本こうようさんのしなやかな身体が表現する、感動と笑いの、そして芸術的なパントマイム小作品の数々をご覧ください。
10月23日(日)時間未定
場所:幕張労働市民プラザ多目的ホール
対象:小学生~大人
参加費:未定
主催/千葉西おやこ劇場
Tel.043-272-1416
- ◆ **のぼり旗用ポール1本500円**
でお譲りします。ご連絡ください
問合せ/(特)子ども劇場千葉県センター
Tel.043-301-7262

千葉県内子どもと舞台芸術・文化団体一覧	団体名		Tel.		
	●	NPO法人 野田子ども劇場	04-7124-8419	●	千葉西おやこ劇場
●	NPO法人 流山おやこ劇場	04-7152-0446	●	NPO法人 こどもユニットWakaba	043-232-0045
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション	047-395-7670	●	千葉北おやこみるあそび会	043-241-1142
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション中央地区	047-332-3024	●	NPO法人 緑区子どもサポートセンター	043-308-4436
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション北地区	047-339-7744	●	NPO法人 千葉中央おやこ劇場	043-251-0142
●	NPO法人 市川子ども文化ステーション行徳地区	047-395-7670	●	NPO法人 四街道子どもネットワーク	043-423-5381
●	NPO法人 子どもっとまつど	047-344-2272	●	やちまたおやこ劇場	043-442-3257
●	浦安子ども劇場	080-6651-9175	●	長生茂原おやこ劇場	0475-22-3000
●	NPO法人 船橋子ども劇場	047-424-0851	●	NPO法人 子どもるーぶ袖ヶ浦	0438-63-2850
●	NPO法人 ならしの子ども劇場	047-451-3676	●	NPO法人 いちかわ市民文化ネットワーク	047-711-8813
●	白井子ども劇場	047-491-2163	●	NPO法人 子育てネットワークゆっくっく	04-7129-8089
●	NPO法人 NPO佐倉子どもステーション	043-487-1655	●	NPO法人 里山会	047-482-4613
●	NPO法人 子どもネット八千代	047-486-4699	●	千葉県子ども核廃	047-457-2065
●	NPO法人 いんざい子ども劇場	0476-46-6287	●	NPO法人 子ども劇場千葉県センター	043-301-7262
●	NPO法人 子どもブラザ成田	0476-29-1387			